

6 教科等の指導

(1) 国語科

【平成27年度「全国学力・学習状況調査」結果分析から】

全国学力・学習状況調査の結果は、下表のとおりです。

上益城の課題としては、次のような事が挙げられます。

十分な内容理解に至っていない。
言語活動の体験不足。
条件（問題）に合わせて記述する力の不足。

国語	小学校6年生		中学校3年生	
	A	B	A	B
上益城	69.8%	62.2%	71.9%	62.8%
熊本県	70.2%	64.0%	75.2%	66.2%
全国	70.0%	65.4%	75.8%	65.8%

授業改善に向けて

平成27年の調査では、物語の登場人物の相互関係を捉えることに課題が見られました。そこで、下のような授業アイデア例が掲載されていますので、参考にしてください。【平成27年度版全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた「授業のアイデア例」より】

国語

TYPE II
B②

「自分の考えを述べるために必要な図表やグラフを用いて書こう」

自分の考えに合った図表やグラフを見つけて、文章を書くことができる

文章と図とを関係付けて読み、自分の考えをまとめることに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、この課題を解決するために、図表やグラフなどを読み、効果的に用いて自分の考えを文章に書くことについての指導事例を紹介します。なお、本アイデアは、第5学年以上を対象としています。

課題の見られた問題の概要と結果

B② 目的に応じ、文章と図とを関係付けて読む
(だれが選ぶ どれを選ぶ)

B②三 正答率 **41.8%** 素題の分担の決め方について、【素題の分担図】を基にして書く

学習指導要領における領域・内容

(第5学年及び第6学年) C 工

(第5学年及び第6学年) B 工

授業アイデア例

学習過程 学習課題 解説文を書くことに向けて、自分の伝えたいことに合った図表やグラフなどの資料を見付けよう

自分の考えを述べるために必要な図表やグラフを用いて、文章を書く

学習活動1 何を伝えたいかを確認し、必要な情報を探す

■ 自分の伝えたいことを明確にし、書名、目次、索引、見出し、手掛かりとなる言葉などに気を付けて、資料などを速く大まかに読む。

伝えたいことに合う情報とは、伝えたいことの根拠となるものや伝えたいことをより詳しく説明するものです。

学習活動2 必要な情報がどこにどのように書かれているか見付けながら読む

■ 「図表やグラフの読み取りポイント」に基づき、各自で、図表やグラフから読み取ったことをまとめる。

図表やグラフを読む際のポイントには主に次の四つがあります。

- ①何を表す図表やグラフなのか
- ②図表やグラフの中にあるそれぞれの情報は何を表しているのか
- ③どの言葉や数字に注目するのがよいか
- ④注目する言葉や数字は何を意味するのか

学習活動3 見付けた情報によって自分の伝えたいことが伝わるか考えながら読む

■ 「自分の伝えたいこと」と「図表やグラフから読み取ったこと」との照応について、説得力を高めているか確かめる。

図表やグラフなどを用いると自分の考えをより分かりやすく伝えることができます。何のために資料を用いるのか考えましょう。

- ①数を表したい→表やグラフ
- ②図解したい→図
- ③実際の様子を説明したい→絵や写真

学習活動4 選んだ図表やグラフ、絵、写真などの資料を用いて、文章を書く

■ 自分が選んだ図表やグラフ、絵、写真などは、伝えたいことに合っているかを考え、選んだ資料を用いて伝えたいことを書く。

■ 何という資料から引用したのかを表やグラフの近くに書く。また、文章の最後に、参考にした資料名などを明記する。

本授業アイデア例 活用のポイント!

- 「自分の思いを伝えるにはこの情報が必要だ」、「この写真があればごみの分別の必要性が伝わる」など、常に自分の伝えたいことに立ち返らせることで、目的意識をもち続けることができるようにすることが大切です。
- 児童に「自分の伝えたいことと合う図表やグラフなどを活用することで、説得力が生まれること」を自覚させるように指導することが必要です。

参照▶「平成27年度 報告書 小学校 国語」P.56～P.64,「平成27年度 解説資料 小学校 国語」P.44～P.52

この事例は、TYPE 短時間で知識・技能を確認して定着を図る事例です。B問題の2番の問題と対応した課題解決策の一つです。

調査結果から見えた課題について、解説やアイデア作成の意図、指導の狙い等が記述されています。

『活用のポイント』
この授業アイデアを活用するに当たって、授業づくりの参考となるよう、他の学年・書く教科等での指導に生かすことなど、参考となる情報や指導上の留意点等を記述しています。

国立教育政策研究所で作成している他の資料の関連を示しています。

- 10 -

1時間の授業展開の工夫

【平成27年度「熊本県学力調査」意識調査B結果より】

1時間のめあてが、「 の作文を書こう」になっていることがあります。このめあてでは、この授業でどんな力を付けたいのかが曖昧です。「引用を使って、 の作文を書こう」とすると、引用の力をつけたいと 思いや考えを書いたり、発表したり、意見を交換したりする場を設けているか

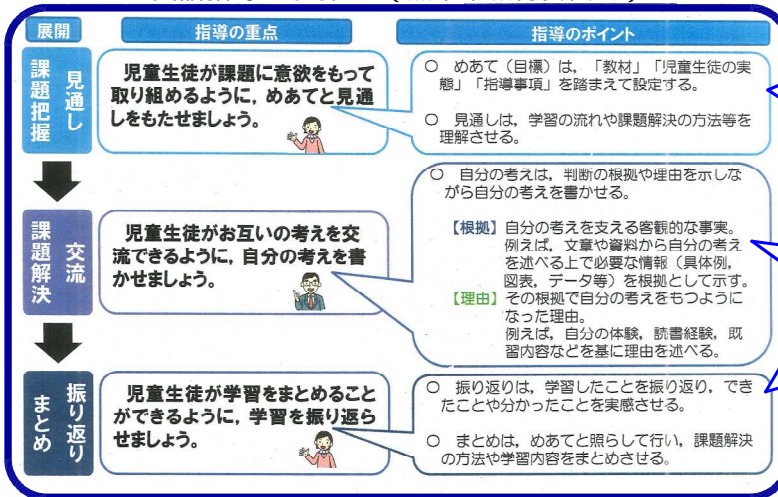
評価を指導の改善に生かしているか		
	上益城	熊本県
小学校	67.7%	63.0%
中学校	64.7%	59.4%

(「ア十分」+「イ概ね」の割合)

思いや考えを書いたり、発表したり、意見を交換したりする場を設けているか		
	上益城	熊本県
小学校	95.9%	92.1%
中学校	70.6%	76.9%

(「ア多く」+「イどちらかといえば」の割合)

【「国語指導の手引き」(熊本県教育委員会)】



めあては、本時の目標を達成するものになっていますか。

めあて達成と評価は連動していますか。

交流の場面では、書いたものを読むのではなく、発達段階に応じて自分の言葉で言える力をつけましょ

授業のまとめと振り返りを大切にしましょう。徹底すべきことは、徹底します。子どもと一緒に考えて、子どもの言葉でまとめられたらいいですね。

授業の板書について

下の板書は、中学校の例です。小学校は、もう少し内容を精選します。教材研究で板書計画を立て、板書を見れば授業の流れ(課題解決の方法、思考過程、授業展開)が分かる板書をめざします。使うチョークの色や使い方は、学校で共通理解・共通実践をしましょう。

【「国語指導の手引き」(熊本県教育委員会)】

「めあて」「交流」「まとめ」等の学習過程のカードを黒板に貼り、授業の流れが見える工夫をした学校が多くありました。そうすると、まとめや振り返りを忘れにくいですね。



まとめ

今日、図表の役割や効果について分かったぞ。レポートを書くときに使ってみよう。

交流

こんな考えもあるのか。参考にしよう。

図表(特徴)

この文を根拠に、自分の考えと理由を書いてみよう。

解決方法

今日は、図表の役割や効果について分かったぞ。レポートを書くときに使ってみよう。

めあて

今日は、図表の役割や効果について分かったぞ。レポートを書くときに使ってみよう。

課題

めあては、本時の目標を達成するものになっていますか。

まとめのポイント?

- 本時に学習したことをめあてと照らして振り返り、交流の内容等を活用してまとめる。必要に応じて、読書との関連を図る。

交流のポイント?

- 目的や条件にそって話し合いを行い、お互いの意見を整理して書き、共通点や相違点を比べやすくする。

解決方法のポイント?

- 解決の方法や使用する「学習用語」を示す。必要な情報を読み取る読み方、自分の考えの書き方・話し方等がある。

課題のポイント?

- 児童生徒の学習意欲が喚起でき、問題意識を持たせることができるように、内容や表現工夫する。